ガラス撥水 Aセット

フロント ガラス 15台施工可能

取扱説明書

12110030

このたびは、グレイス製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございました。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

安全上のご注意 : 取扱説明書を必ずお読み下さい。

この取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂くようあなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために下記のような『マーク表示』を行っています。その表示と意味は次ぎのようになっております。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

■セット内容

***	G ウインドコート 100cc	1
***	G ウインドクリーナー 100cc	1
***	G ガラス下地処理剤 100cc	1
14710060	G 台付スポンジ	3
12118330	G ハンドパット	1
***	G ガラス磨きパット	4
***	取扱説明書	本紙

■特　徴

ワイパーのビビリも無く、雨天時の視界確保、安全運転をご提供いたします。

このようなお客様にお勧めです。
- ■雨の日の運転が疲れる
- ■油膜が気になる
- ■頻繁に高速道路走行する方

⚠警告

●吸入飲食不可 ●全ての液剤は、人体に害がありますので、故意に吸入、点眼したり飲まないで下さい。●目に入ると傷害を生じる恐れがあるので十分に注意して下さい。●皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用して下さい。●引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。●子供の手の届く所に置かないで下さい。

⚠注意

●用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。●製品の特性上、成分が分離したり、容器が変形する場合がありますが、品質上問題はありません、容器をよく振ってからご使用下さい。●火気のある場所では使用しないで下さい。

業務用

本製品をご使用になる前に、以下の販売条件をご承諾のうえご使用下さい。

●記載のデーターなどの技術情報については、当社の規定の試験方法による実験値でありますので正確性と安全性についての絶対的な保証はいたしかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方ご自身でご判断いただき、それに伴うすべての責任と危険をご負担下さい。保証の範囲は、明らかな不良品の交換のみとさせて頂きます。●本製品の誤った取扱いによる傷害または損害については責任を負いかねます。●製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。

⚠ 施工前の注意

●本製品は、ガラス面の油膜除去、撥水処理を目的としたものです、それ以外の用途、部分には施工しないで下さい。●施工に使用する用具(タオル、スポンジ等)は、常に綺麗な状態を保つ様 頻繁に清掃をして、ガラス面に傷が入らないように注意して下さい。

●砂、ほこり等を避けるため、風の強い日や屋外での作業はなるべく避け、室内の換気の良い場所で作業して下さい。

⚠ 下地施工時の注意

●コート前の下地作業は、必ず洗車し、砂・ホコリ等を完全に取除いて下さい。●ウインドクリーナーは必ずハンドスプレー等で**水を含ませながら作業して下さい。**(裏面 ワンポイントアドバイス参照) ●ウインドクリーナー使用後は、良く水洗いして、ボディー等に付着した液剤を洗い流して下さい。●水滴を拭取り、ガラス面を乾燥させてから、コート作業に進んで下さい。

⚠ コート時の注意

●ガラス面を乾燥させてから(Gウインドコートは、水分に反応します)Gウインドコートを台付スポンジ黄色に適量付け均一に塗り延ばして下さい。●白く乾燥したら、固く絞ったタオル等でぬれ拭きして下さい。●最後に空拭きして下さい

⚠ 施工後の注意

●施工完了後直後の走行は可能ですが、施工後2時間は施工部分に触れたり水を掛けないで下さい。常温時の硬化反応完了時間(24時間)以内に施工部分に水が掛かった場合は、速やかに水滴を拭取り、水の掛からない場所に移動して下さい。その間塗装面に強い衝撃や摩擦等が加わるとコーティング被膜に傷が入る可能性がありますので、洗車等はしないで下さい。●施工面を研磨剤の入った洗剤や、コンパウンド、固いブラシなどで擦らないで下さい。コーティングが剥がれ、塗装面の保護効果が失われます。●鳥の糞、樹液などが付着した場合、そのまま放置すると施工面に浸透し、コーティングを著しく劣化させる可能性がありますので速やかに洗い流して下さい。

■G ウインドクリーナー

名　　称	自動車用ガラスクリーナー
用　　途	自動車ガラス面の洗浄
成　　分	酸化アルミ、界面活性剤
内 容 量	100g
危険物区分	第4類　第2石油類　危険物等級Ⅲ

警告

飲込むと有害のおそれ(経口)
皮膚に付着すると有害のおそれ(経皮)
飲込み、気道に侵入すると有害のおそれ

■G ウインドコート

名　　称	自動車用ガラス撥水剤
用　　途	自動車ガラス面
成　　分	フッ素系樹脂、プロピルアルコール
内 容 量	100cc
危険物区分	第4類　アルコール類　危険物等級Ⅱ

警告

飲込むと有害のおそれ(経口)
皮膚に付着すると有害のおそれ(経皮)
飲込み、気道に侵入すると有害のおそれ

引火性注意

表 示 者　習志野エンジニアリング㈱
千葉市美浜区幕張西6-25-1
043-297-4071
www.narashino-eng.co.jp

取扱上の注意

●使用前に取扱説明書を良く読み、すべての安全注意を理解するまで、取扱わないで下さい。●材質により変色や腐食する恐れがありますので、用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。●吸入飲用不可 人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないで下さい。●皮膚に損傷　皮膚に損傷を与える恐れがありますので、ゴム手袋、ゴム製保護衣を必ず着用して下さい。●防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、工具を使用して下さい。静電気放電や火花による引火を防止して下さい。

応 急 処 置

●吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し速やかに通気の良い所で安静にして下さい。気分が回復しない場合は、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。●飲込んだ場合は、吐き出させないで、速やかに医師の診断を受けて下さい。●眼に入った場合は、こすらずに、すぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗い、本品持参の上、速やかに医師の診断を受けて下さい。コンタクトレンズを着用の場合は、固着していないかぎり、取除いて洗眼し続け、速やかに医師の診断を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、布等で素早く拭取り、石鹸等で十分に洗い流して下さい。●暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。●火災の場合には適切な消火方法をとって下さい。●衣服にかかった場合には、シミになる恐れがありますので、速やかに洗浄して下さい。

保管及び破棄方法

●涼しい所、換気の良い場所で、施錠して保管して下さい。●子供の手の届く所や、飲食物のそばなどには置かないで下さい。●保管時には必ず密閉し、直射日光の当たる場所凍結の恐れのある所、40℃以上になる所や水、湿気の多い場所には置かないで下さい。●破棄の際は、内容物や容器を都道府県の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

●グレイス ウインドコート 施工手順

■水滴、風、異物混入を防ぐため、屋内で作業して下さい。止むを得ず屋外で作業する場合、雨や風の強い日は、仕上りに悪影響を及ぼしますので、相当の対策を講じて下さい。

表示者
習志野エンジニアリング株式会社
千葉市美浜区幕張西6-25-1
043-297-4071

★作業工程の選択

本格撥水施工

油膜等の汚れが気になるガラス

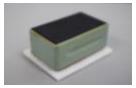
クイック撥水施工

比較的きれいなガラス

★写真は、サンダー作業時のものです。
手作業の場合は、グレイス ハンドパットを使用。

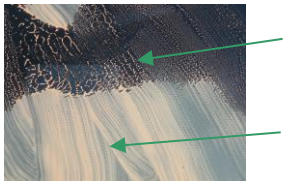
①泥・砂洗浄／下地処理

使用するもの
G ウインドクリーナー
G ガラス磨きパット
G ハンドパット



●泥・砂等の汚れを洗い流して下さい。ガラスに傷が入る原因となります。 ●**ガラス面が濡れている状態**でGウインドクリーナを適量、ガラス磨きパットに付け、均一になる様延ばして下さい。必ず水を補充しながら作業して下さい。
●ガラス面の撥水がなくなり、本剤が均一に延びるまで作業を繰返して下さい

②下地処理要領 ワンポイントアドバイス



下地処理不足

下地処理完了

●ガラス面の撥水がなくなり、本剤が均一に延びるまで作業を繰返して下さい

★下地処理不足ですと、撥水コート剤が密着しません

③水洗い（液剤除去）

別売 G ウエットクロス

●ウインドクリーナーを完全に洗い流して下さい。Gウエットクロス（別売）等の柔かい布で擦りながら、水を掛け洗浄して下さい ●本剤が残って乾燥すると白色化しますのでガラス周辺のボディーも大量の水で洗浄して下さい

★洗い残しに注意して下さい

④ 水洗い、乾燥時の注意

使用するもの
グレイス ガラス下地処理剤
グレイス ガラス磨きパット
グレイス ハンドパット

■ 比較的きれいなガラス ■

●泥・砂等の汚れを洗い流して下さい。ガラスに傷が入る原因となります。 ●ガラス面が濡れている状態でGガラス下地処理剤を適量、ガラス磨きパットに付け、均一になる様延ばして下さい。●ガラス面の撥水がなくなり、本剤が均一に延びるまで作業を繰返して下さい

⑤ 乾燥作業

別売 エアーブローガン

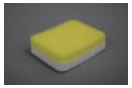
●エンジンを掛け、デフ温風送風にして、ガラス面を乾燥させて下さい ●次工程での、Gウインドコート剤は水分と反応しますので十分乾燥させて下さい ●別売 グレイス エアーブローガン等を使うと効率よい作業が行えます。

★水滴厳禁・・・・十分乾燥させて下さい

⑥ コーティング作業

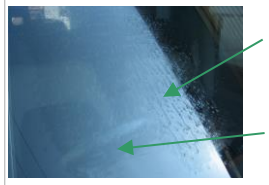
使用するもの
グレイス ウインドコート

台付スポンジ 黄色



●ガラス面が乾燥していることを確認して下さい ●Gウインドコートを適量、台付スポンジ黄色面に付け均一になる様作業して下さい ●塗り残しには十分注意して下さい
●ウインドコートを塗布後、白く乾燥したら、次工程にすすんで下さい

⑦ コーティング要領



コート処理不足
撥水が残った状態

コート処理完了

●ガラス面の撥水がなくなり、本剤が均一に延びるまで作業を繰返して下さい

⑧濡れ拭き

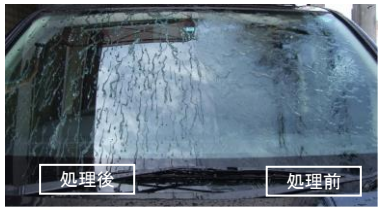
●Gウインドコートが白く乾燥したら、別売 Gウエットクロス等の柔かい布で濡れ拭きして下さい

★拭き残しに、注意して下さい。

⑨ 乾拭き

●濡れ拭き後、別売 Gファインクロス等の柔かい布で乾拭きして下さい

⑩完了



★オプション機材

12118330　セットに付属
Gハンドパット 100×60×40t

13813010
電動ミニサンダー 550S

13843010
エアーサンダー MS-630N